

2022年11月16日(水)

パネルディスカッションⅡ 「大学等における発達障害学生への連携支援について」

# 地域障害者職業センターの 発達障害学生に対する就労支援



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部

東京障害者職業センター多摩支所

主任障害者職業カウンセラー 小野寺 十二

## 内容

1. 若年層の発達障害者の相談内容の傾向
2. 東京障害者職業センター多摩支所における発達障害学生への就労支援の取り組み
3. 発達障害学生への就労支援における課題

参考 地域障害者職業センターの概要

# 1. 若年層の発達障害者の相談内容の傾向

## よくあるご相談

自分に合っている仕事って…？  
どんな仕事を探せばいいかわからない。

面接場面や履歴書を書くことが  
苦手。  
障害を開示して働きたいが、ど  
のように伝えればいいのか分から  
ない。

障害のことを伝えたら逆に差別  
されるのでは…？  
障害者求人は給料が少ないと聞  
いた。

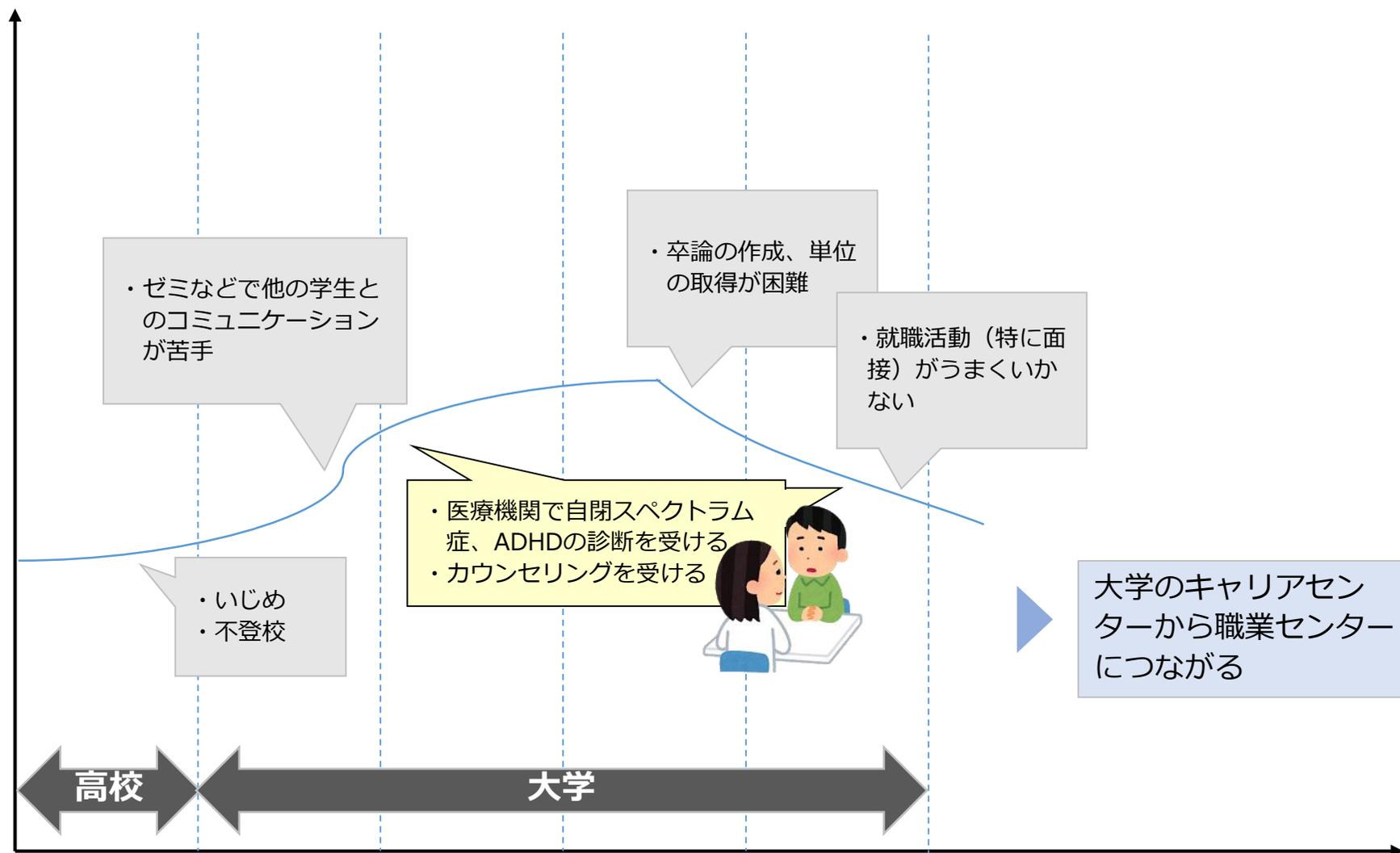
職場でうまくいっていないので  
相談したい。  
障害のことを伝えたのに分かっ  
てもらえない。

これまで仕事をしたが、長続き  
していない。自分の特徴につい  
て理解を深めて、合った仕事で  
長く働きたい！

ストレスを抱えがちで、いつの  
間にか体調を崩してしまう…。  
ストレス対処法について知りた  
い。

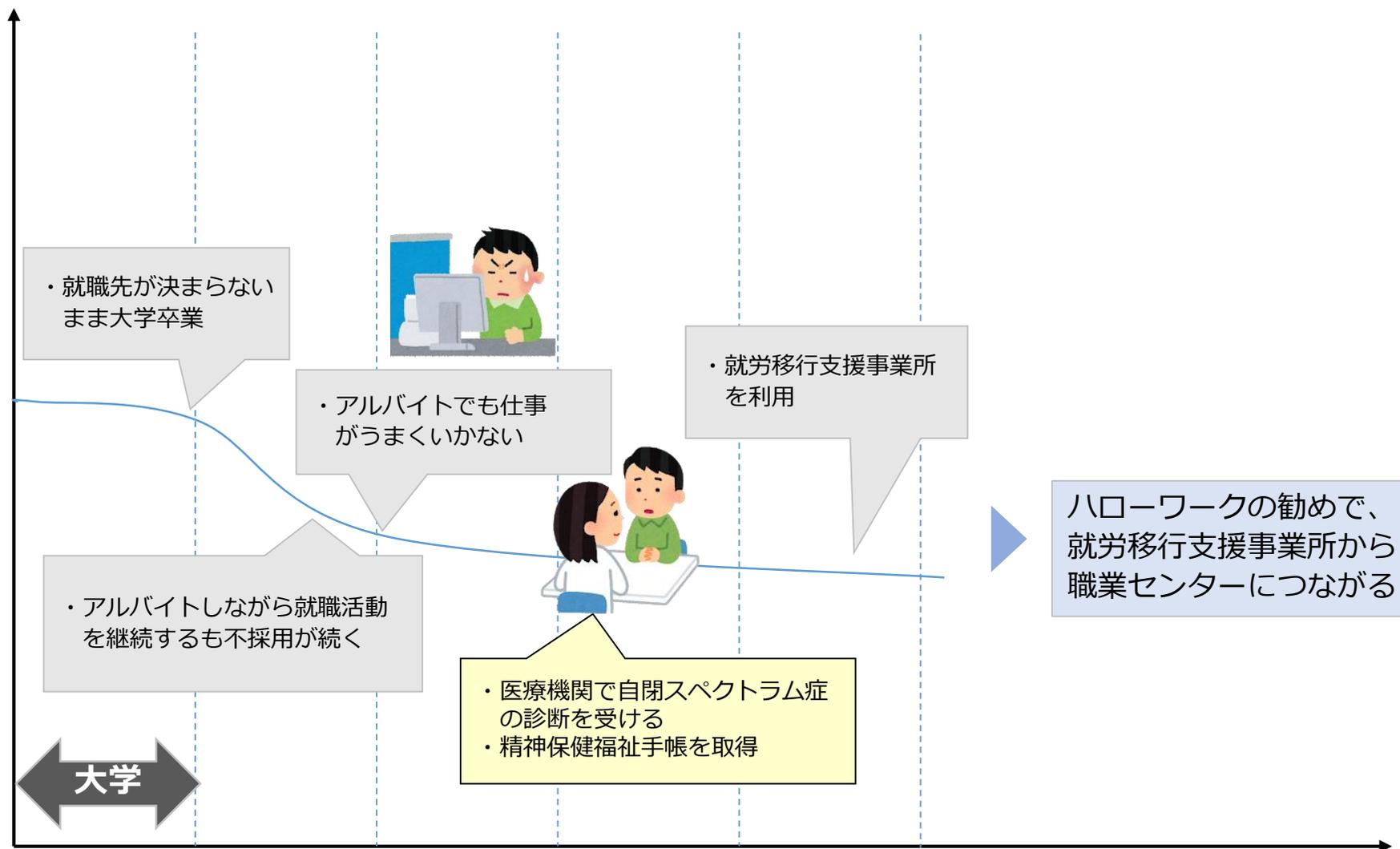
相談例①

求職者：在学中に診断を受けた方



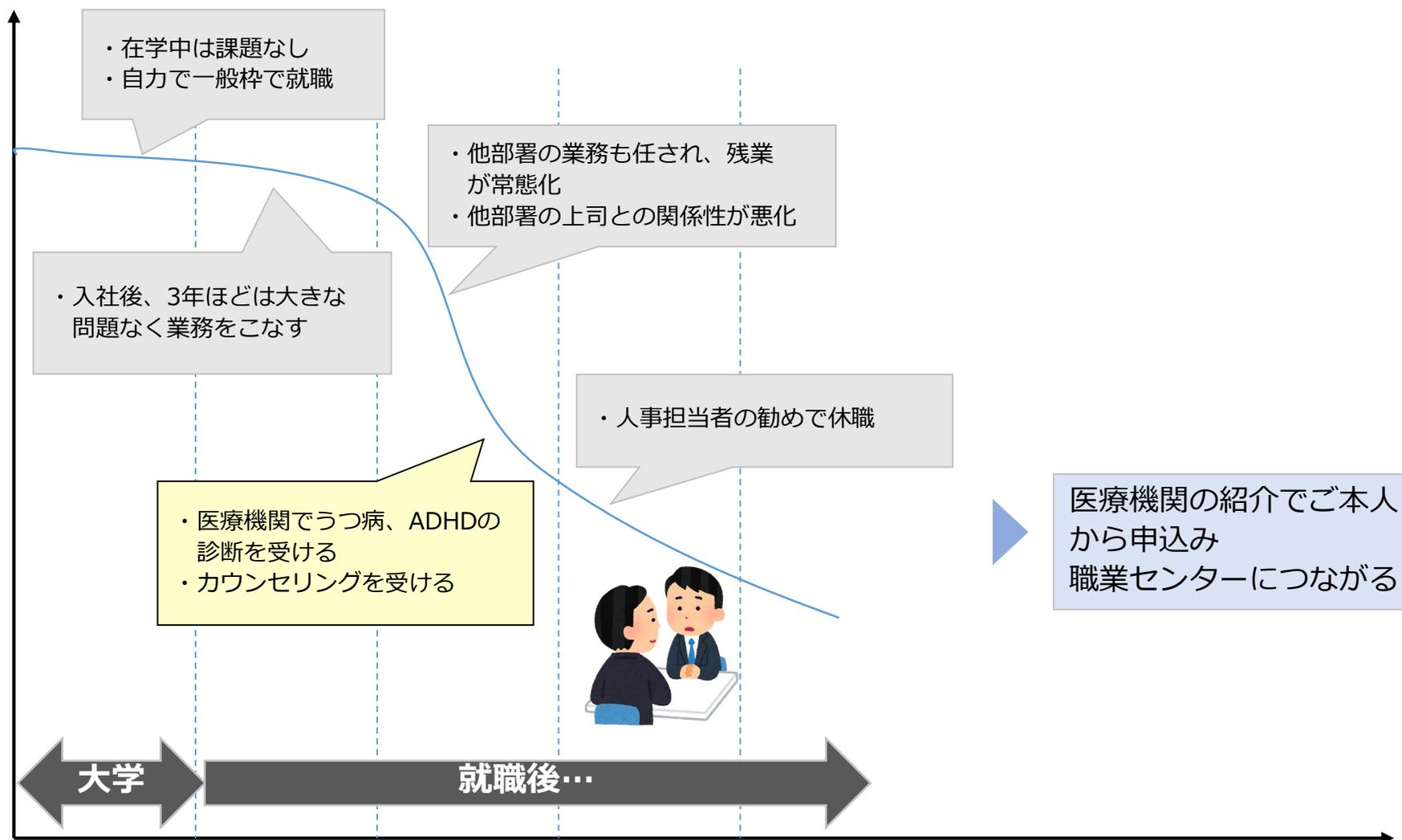
相談例②

求職者：卒業後、就職活動が不調な方



### 相談例③

## 在職者：職場で不適応になった方



## 2. 東京障害者職業センター多摩支所における 発達障害学生への就労支援の取り組み

## 障害のある学生の利用状況

- 発達障害（傾向を含む）の割合が高い。それ以外には精神障害、肢体不自由、聴覚障害、難病、高次脳機能障害、知的障害、未診断の方など。
- 在学生は新卒応援ハローワークと在籍中の学校経由、既卒者（中退を含む）は就労支援機関・医療機関経由や直接来所が多い。なお、大学によって依頼元はキャリアセンター、学生相談室、保健センターなど様々。
- 発達障害者・精神障害者以外の方は、診断を受けている障害や疾患そのものだけでなく、それ以外にもどのようなことが働く上での困難さに影響しているのか把握・整理し、対処方法や必要な支援を検討することを目的とした利用が多い印象。

## <利用者による傾向>

卒業年次より前の年次でも、相談・評価が必要な方には対応している

卒業を優先するために、在学中の利用を見送られることもある

	クローズ就労も検討・希望	オープン就労を検討・希望
利用者の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達障害の特性は強くない</li> <li>● 知的・作業能力が高い</li> <li>● 診断を受けて日が浅い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達障害の特性が強い</li> <li>● 学童期頃から困り感がある</li> <li>● 障害者手帳を取得済み</li> </ul>
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害の開示・非開示のメリット・デメリット</li> <li>● 就職後のキャリアアップや収入などの見通しへの不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就職以外の選択肢（就職準備のための社会資源）の情報</li> </ul>
職業評価 希望の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害の開示・非開示を中心とした卒業後の進路検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分に合った働き方（得意・不得意、必要な配慮）の検討</li> <li>● 就職に向けた課題の整理</li> </ul>

## <依頼経路による傾向>

- ハローワーク：約束した相談日に来られないなど職業準備性に懸念。面談だけでは希望する働き方が可能かの判断が困難。診断以外にも配慮が必要との見立てなどにより職業評価の依頼をいただく
- 大学等：障害の開示・非開示で迷っているという相談や、開示する場合を念頭に本人の特性に合った働き方を検討するといった目的で紹介いただく

## 大学等との連絡会議

- 発達障害者支援を実施する関係機関との連絡会議
  - 東京障害者職業センター多摩支所が事務局として年1回程度開催
  - 主な参加機関：大学、新卒応援HW、障害者就業・生活支援センター、障害者就労支援センター
  - 平成26年から「発達障害のある（疑われる）学生の就労支援」を取り上げています
  - 主なテーマ：①発達障害のある（疑われる）学生に対してより早期に職業に関する相談等の支援に誘導できるようにすること、②大学在学中に職業準備にかかる支援、就職活動支援を円滑に行っていくこと、③大学・就労支援機関の連携を進め、発達障害のある（疑われる）学生の就労支援にかかるネットワークを構築していくこと
  
- 若者サポートステーションなど若年層の方の支援団体や、労働局・ハローワーク、障害者就業・生活支援センターが主催する会議・セミナーなどにも参加し、連携協力を図っています

### 3. 発達障害学生への就労支援における課題

## 「発達障害者支援を実施する関係機関との連絡会議」の意見から

**大学**

- 支援や配慮が必要な学生の把握
- 障害学生支援の専門部署・担当者
- 組織的な就労支援の進め方（大学内の連携、外部の支援機関との連携）

**ご本人**

- 体験を通じた学びの必要性
- 就労支援を受けるイメージの不足
- ご家族の希望・理解・協力
- 学業と就職活動の両立

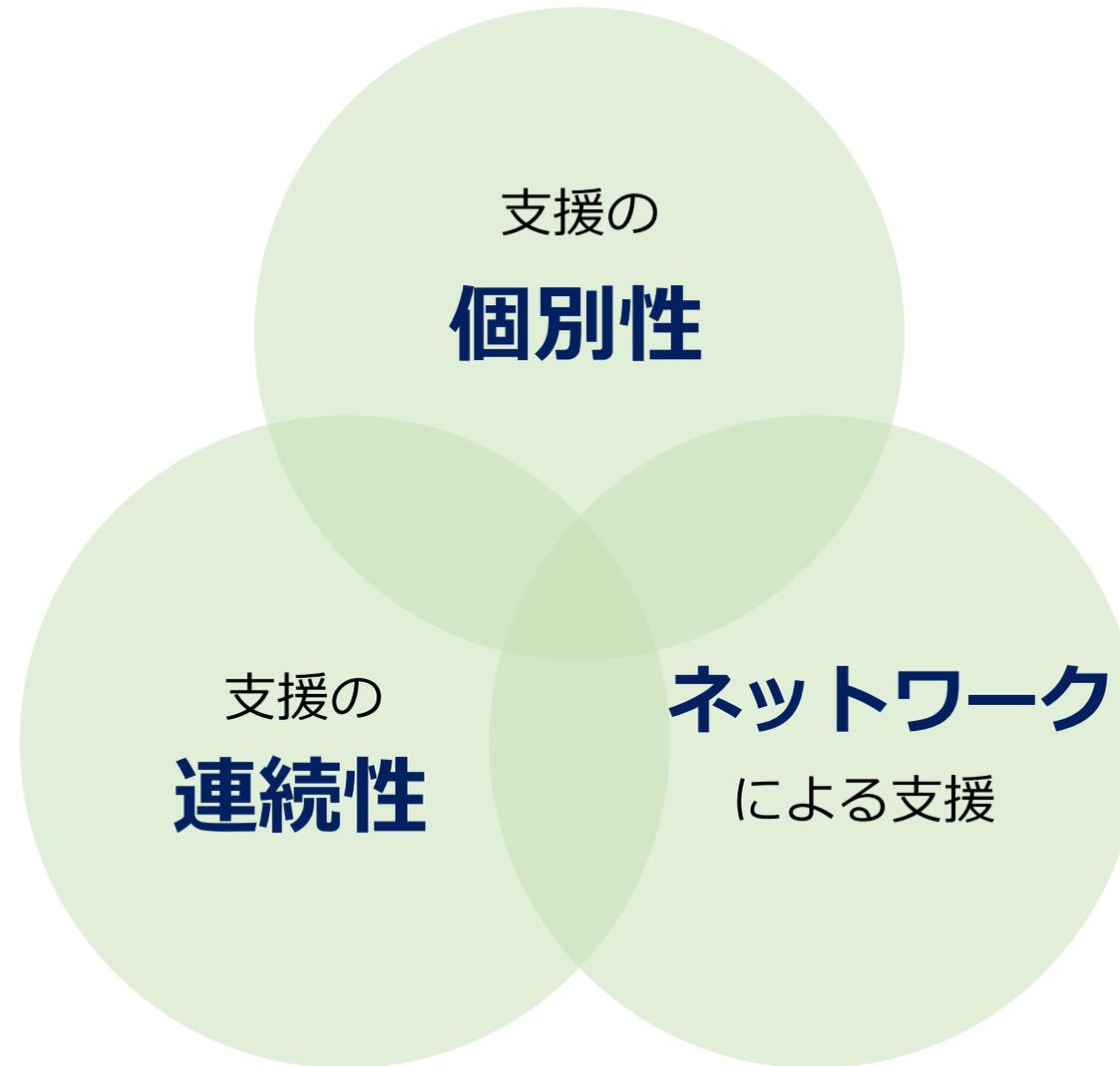
**就労支援機関**

- 就労支援機関のサービスや利用方法に関する情報（認知度の低さ）
- 在学中に利用できる機関、利用要件（受け皿の少なさ、制約）
- 支援スキル・知識・連携

**企業**

- 障害者求人の労働条件
- 障害を開示した場合のキャリア
- コミュニケーション等が苦手な方への理解、適切な配慮の提供

大学・支援機関・企業等の連携による支援のポイント



参考

## 地域障害者職業センターの概要

# 地域障害者職業センターのサービスの紹介動画

現在位置: [機構ホーム](#) > [障害者の方へ](#)

## 障害者の方へ

- **就職支援・相談窓口**  
地域障害者職業センターによる就職に向けての相談支援等の情報を掲載しています。
- **精神障害者総合雇用支援**  
精神障害のある方に向けた専門的支援を実施しています。
- **職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援**  
事業所にジョブコーチを派遣し障害者および事業主に対して専門的な援助をおこなっています。
- **職業準備支援のご案内**  
仕事選びや継続就労を実現するための就労支援カリキュラムを実施しています。
- **広域障害者職業センター／障害者職業能力開発校のご案内**  
障害者の職業訓練校である国立職業リハビリテーションセンター、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター等に関する情報を掲載しています。
- **わかりやすい版(ぼん)「障害(しょうがい)のある方(かた)へ」**
- **精神障害のある方・発達障害のある方に向けた支援内容のご紹介（リーフレット）（PDF 633 KB）**

## 障害者の雇用支援

- **障害者の方へ**
  - ▶ [就職支援・相談窓口](#)
  - ▶ [精神障害者総合雇用支援](#)
  - ▶ [職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援](#)
  - ▶ [職業準備支援のご案内](#)
  - ▶ [広域障害者職業センター／障害者職業能力開発校のご案内](#)
  - ▶ [わかりやすい版\(ぼん\)「障害\(しょうがい\)のある方\(かた\)へ」](#)
- **事業主の方へ**
- **障害者雇用の支援者の方へ**
- **イベント・啓発活動**
- **障害者雇用納付金**
- **助成金**
- **調査研究**
- **各種資料（障害者の雇用支援）**

## 重要なお知らせ等

- **新型コロナウイルス感染症関連情報**
- **障害者雇用納付金制度の対象事業主が拡大されます**

## 地域障害者職業センターのご紹介



## 障害のある方へのサービス

<https://youtu.be/RxbRKRxpqx8>

## 事業主へのサービス

<https://youtu.be/bd9tloTJgWU>

## 障害者雇用に関する動画のご紹介

### 地域障害者職業センターのご紹介



● [～事業主の方へのサービス～ \(YouTube\)](#)

## 地域障害者職業センターの概要

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営する障害者の職業リハビリテーション機関（就労支援機関）です。
- 各都道府県に1か所ずつ設置されています。  
（北海道、東京、愛知、大阪、福岡には支所を設置）
- 専門の障害者職業カウンセラーが配置され、ハローワーク等の関係機関と密接な連携を図り、障害者・事業主・関係機関に対して様々な支援サービスを提供しています。
- 利用（相談）は無料、予約制。企業訪問等の出張相談も行っています。



## 支援の対象



障害・難病がある

### ご本人

求職者  
在職者/休職者

障害種別や  
障害者手帳の  
有無は不問



### ご家族

保護者  
きょうだい  
親戚

など



### 事業主

障害者雇用を  
検討している  
事業主

障害者雇用に  
既に取り組んで  
いる事業主



### 関係機関

就労支援機関  
教育機関  
福祉機関  
医療機関  
行政機関

など

## 障害のある方への支援

- 「その方らしく働く」、「自分らしさをいかして働く」ことを応援します。
  - 「働き方を整理する・見直す」ためのお手伝いをします。
- 自分の良いところをいかせる仕事
  - 安心して働ける職場環境（物理的、人的、制度的）と労働条件
  - 障害特性をふくめた自己理解と対処方法
  - まわりに求める理解と配慮の内容、その伝え方
  - 職業生活を支える基盤（生活、医療など）

丁寧な**アセスメント**と**計画**に基づく支援

**短期集中的問題解決型**のアプローチ

希望する**働き方**や**暮らし方**の実現を目指す

その方のご希望や状況に応じて  
さまざまなサービスを組み合わせて支援を行います。



オンラインでの  
相談も行っています



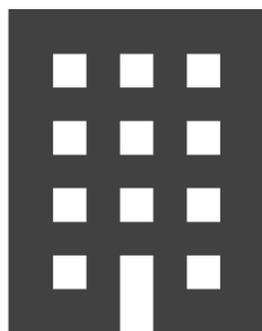
相談室で

- 職業相談
- 職業評価



各種講座  
グループワーク  
模擬的就労場面

- 職業準備支援
- リワーク支援

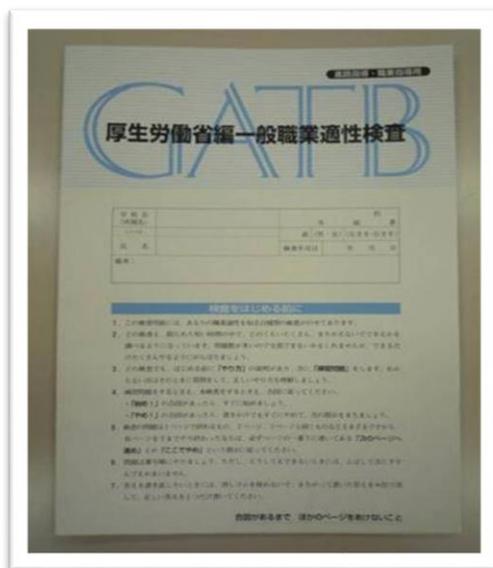


実際の  
職場で

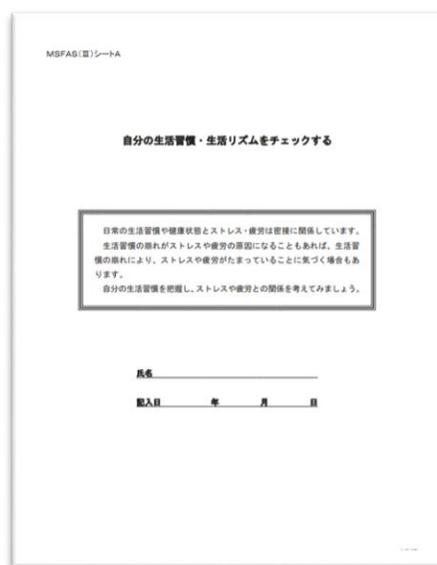
- ジョブコーチ支援
- 職場適応指導

## 職業相談・職業評価

面接や各種検査、ワークシートなどを通じて、一人ひとりの得意不得意、職場で必要となる配慮事項、ご本人が希望する働き方や支援などについて整理し、企業等で長く働いていくために必要な支援内容・方法などを含む、職業リハビリテーション計画を個別に提案・策定します。



【職業適性検査】



【幕張ストレス-疲労アセスメントシート(MSFAS)】



【面接】



【作業検査(事務作業・OAワーク)】



## 相談・アセスメントで活用できるツール



- 発達障害の特性チェックシート
- 発達障害について理解するために～事業主の方へ～  
〈支援マニュアルNo.18「発達障害者のアセスメント」〉



- 在職者のための情報整理シート  
〈支援マニュアルNo.27「発達障害者に対する雇用継続支援の取組み－在職者のための情報整理シートの開発－」〉



- 職場環境適応プロフィール
- ストレス対処整理シート（ストレス温度計）
- ふりかえりシート  
〈支援マニュアルNo.13「ナビゲーションブックの作成と活用」〉

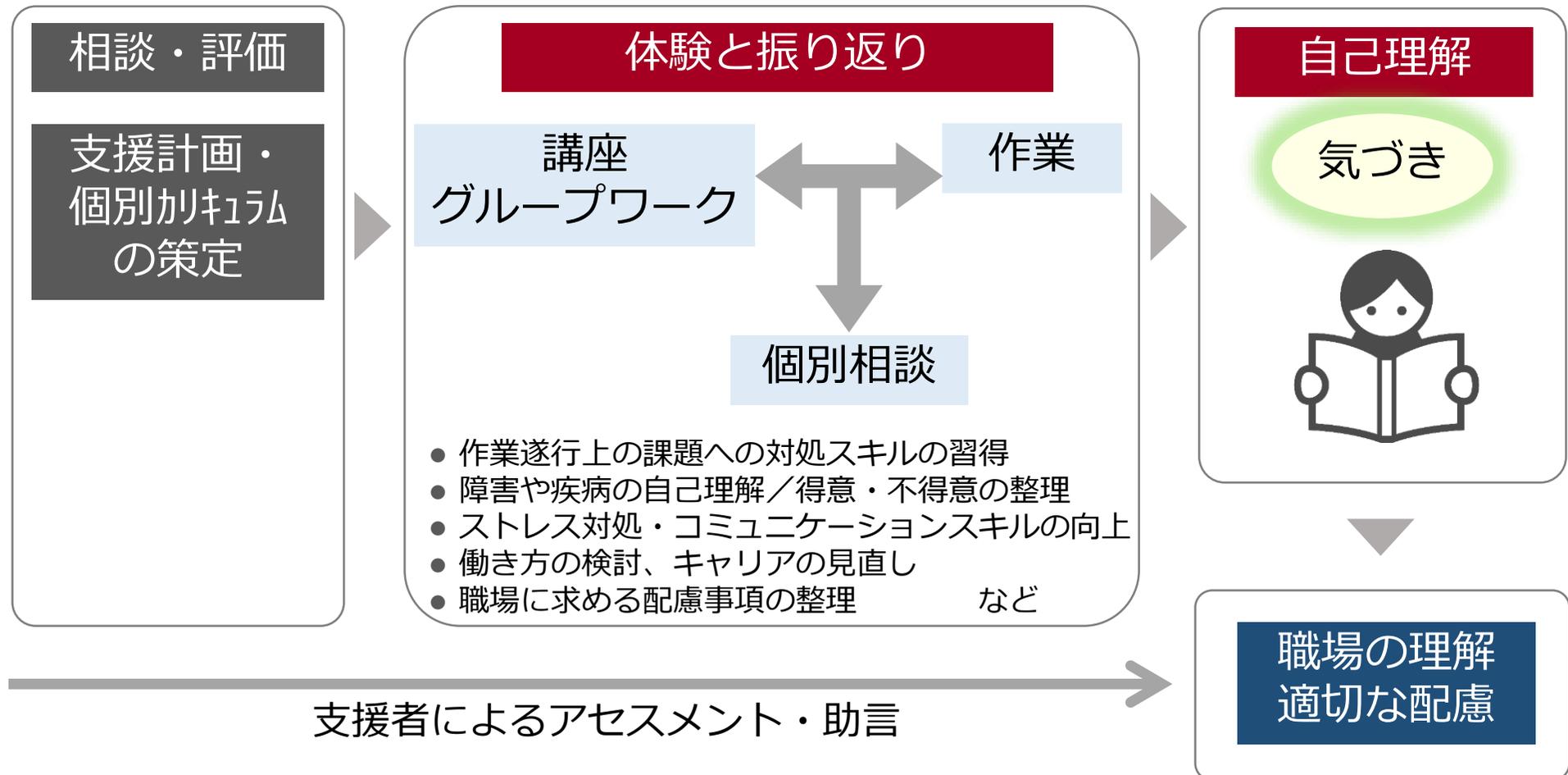
ダウンロード可能です

障害者職業総合センター <http://www.nivr.jeed.go.jp/>

## 職業準備支援

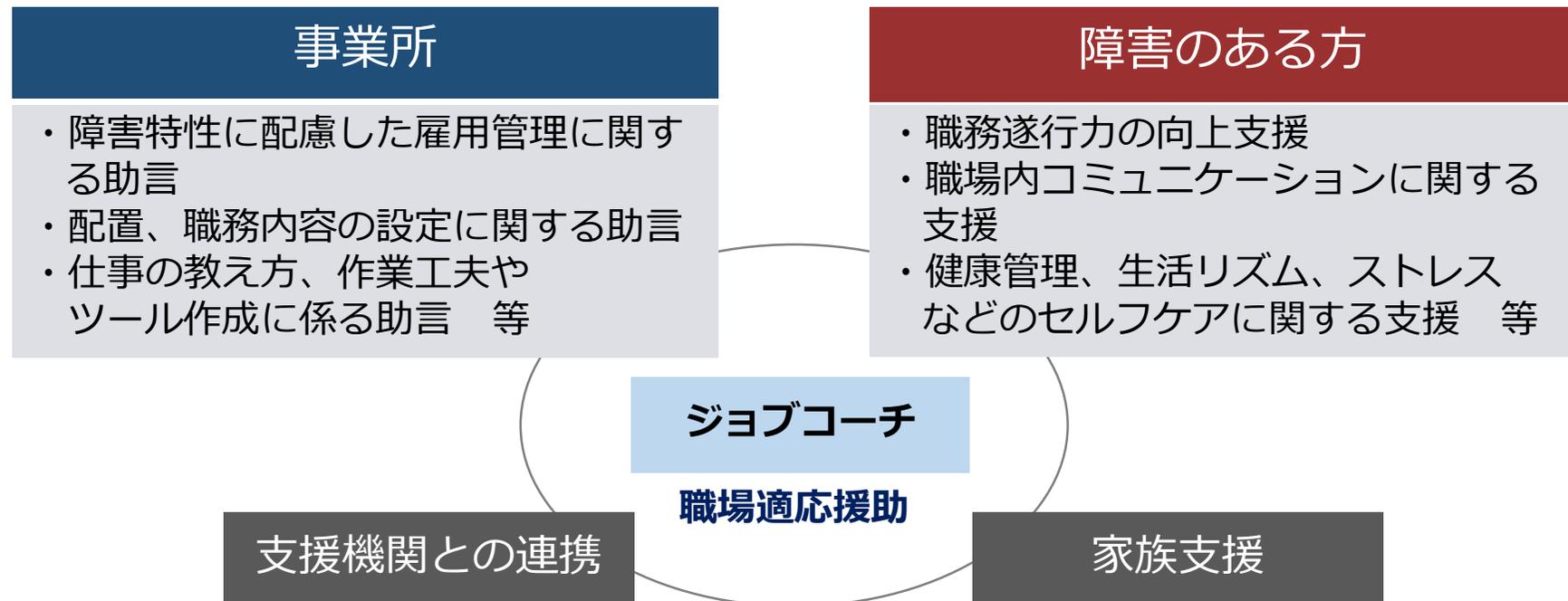
講座や作業体験などを通じて、職務遂行に必要な労働習慣と知識の習得、自分に合った働き方の検討を支援します。

※お一人おひとりに応じて、様々なプログラムを組み合わせた個別のカリキュラムを策定しています。  
ご本人の希望や課題を踏まえて、利用期間・日数を設定します（最大12週間）。



## ジョブコーチ支援

- ジョブコーチ支援は、障害のある方が働く職場に一定期間ジョブコーチが訪問し、本人と職場の双方に支援を行うサービスです。
- 職場の上司・同僚が障害のある社員に関わりやすくすることや、雇用管理のポイントを踏まえ、安定した雇用継続ができるようにすることなどを目的としています。
- 職場に直接訪問して支援を実施することで、本人と一緒に働く現場の方（上司・同僚）への相談・助言を行うことができます。



## 事業主支援

- 障害のある社員も、まわりの社員の方々も、安心していきいきと働くことができる職場づくりを応援します。
- 雇入れから職場定着、職場復帰、キャリア形成・能力開発支援まで、幅広くご相談に応じています。

事業所の困りごと・相談内容	障害者職業センターのサービス（例）
1. 障害者雇用を始めるに当たって <ul style="list-style-type: none"> <li>・どう進めていけばよいのか、何から取り組めばよいのかわからない</li> </ul>	<b>採用計画支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用制度のガイダンス</li> <li>・ 障害者雇用の理念の確立</li> <li>・ 採用計画、配置、労働条件に関する助言</li> <li>・ 既存職務の分析・再設計</li> </ul>
2. 受入れの準備の際に <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内でのコンセンサスを形成したい</li> <li>・作業環境・整備を改善したい</li> <li>・雇用管理態勢を構築したい</li> </ul>	<b>各種情報提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者雇用に関する社員への啓発・研修の実施</li> <li>・ 支援機器・助成金への助言</li> <li>・ 事例情報等の提供</li> </ul>
3. 雇入れ、雇用後について <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングがうまくいかない</li> <li>・どのように仕事を教えたらよいか知りたい</li> </ul>	<b>雇入れ支援とフォローアップ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハローワークと連携し、マッチング支援</li> <li>・ ジョブコーチによる支援</li> <li>・ 雇用後の課題解決支援（職場適応指導等、ジョブコーチ支援）</li> <li>・ 精神障害者の職場復帰支援（リワーク支援）</li> <li>・ 雇用管理サポーターと連携した助言・援助（障害者雇用支援人材ネットワーク事業）</li> <li>・ 合理的配慮の提供に係る助言・情報提供</li> </ul>
4. 職場適応・定着・復帰について <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事がうまくこなせない、出勤が安定しないなど課題のある状況の雇用管理方法について相談したい</li> </ul>	